土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川　江の川水系　下領家右下谷通常砂防工事に伴う測量設計業務委託(地質調査)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	広島県庄原市総領町下領家　地内			北緯	34° 47′ 12.9695″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所			調査期間	2019年　1月 29日 ～ 2019年　1月 29日	東経	133° 04′ 24.5501″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 340.93m	角度	180° 上下 90° 0° 0°	方位	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 35°	使用機種	
総削孔長	5.00m								
試錐機	東邦地下工機　D1-C								
エンジン	ヤンマー　NFD-12					ポンプ	東邦地下工機　BG3-C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	339.38	1.55		砂礫		褐	rd4		新生代第四紀	崖錐堆積物に該当。φ5～10mmの角礫を多量に含む。礫分の最大径は5cmに達す。マトリクスは細粒分を含んだ中砂が主体をなす。全体に低含水である。	
2	337.58	3.35		風化安山岩		淡灰～黄灰			中生代白亜紀	40～50°の割れ目が密に発達し，割れ目に沿って幅広く破砕，変質，および風化を伴う。岩片は硬軟混在する。コア形状は短柱状～岩片状を主体に，劣化部では礫状～礫混じり土伏を呈す。3mの貫入試験は，特に強い劣化部を打撃している。劣化部は区間長で22.5cm。CL級岩盤(一部DH級)に相当する。	
3	336.48	4.45		風化安山岩		黄灰～灰				短柱状コアが主体をなす。岩芯風化を伴い，黄灰色が強い。割れ目沿いは軟化している。CL級岩盤に相当する。	
4	335.93	5.00		安山岩		暗灰				短柱状コアを主体に，一部大塊の岩片状をなす。岩芯風化を弱まり，岩本来の色調が強い。岩片は中硬質～硬質な硬さを保つ。CM級岩盤に相当する。	
5											
6											

標準貫入試験

深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	33	1.15	12	12	9	33/300		
		1.45	貫入不能			50/0		
		2.00						
	94	2.60	29	21		50/160	160	
		3.00						
		3.16	貫入不能			50/0		
		4.00						
	750	4.60	50/20			50/20	20	
		5.00						
		5.02						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					1/29